



火・水・金・土 午前外来



睡眠時無呼吸症候群外来 のご案内



睡眠時無呼吸症候群とは、
空気の通り道である上気道が狭くなり睡眠時に呼吸が止まる
深い眠りにつくことができない病気です。
循環器に大きな影響があり、放っておくと高血圧、生活習慣病、
脳卒中、狭心症、心不全などに合併するリスクが高くなります。

担当
医師

循環器内科
押川 直廣



こちらの症状は睡眠時無呼吸症候群の疑いがあります



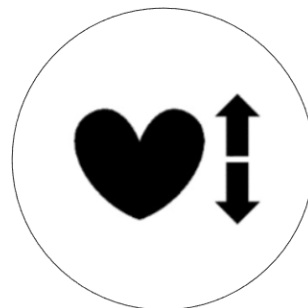
おおきな
イビキをかく



日中に
いつも眠い



居眠り運転を
起こしそうになる



血圧が高い



起床時に
頭痛やだるさがある

検査と治療の流れ

自宅
1晩

約3,000円



SAS簡易検査

自宅で行う簡易検査です。睡眠中の呼吸の状況や血液中の酸素濃度などを同時に測定して無呼吸の有無を検査します。

必要に応じて

入院
1泊2日

約30,000円



PSG検査 (夕方入院、朝退院)

入院して行なう精密検査です。脳波・心電図・呼吸・血液中の酸素などの生命信号を測定して睡眠呼吸障害を診断します。

SAS
診断

約4,000円/月



CPAP治療

CPAP装置から空気を気道に送り常に圧をかけて塞がっていた気道を広げます。CPAPは治療効果が高い治療法です。睡眠中の無呼吸やいびきの減少の改善がみられます。



IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明芳会

イムス記念病院